



NO.137



令和7年7月発行  
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係  
家庭教育担当:塚原  
〒501-3756 美濃市生柳 1612-2  
TEL: 0575-33-4011 (内線210)

# 令和7年度 第1回 美濃地区 子ども応援会議

## ～子どもの笑顔と安心感を育む居場所づくり・絆づくり～



岐阜県では地域ぐるみで子どもたちを健全に育むため、毎年地区ごとに、学校関係者や青少年関係団体、社会教育団体等の代表者約60名が集まり連携を図る会議を開催しています。(美濃地区では、この会を「子ども応援会議」と称しています) 今回は、6月11日(水)に郡上市立八幡中学校で開催された、家庭教育についての講話や同校の実践発表、同校生徒と地域の方との意見交流会の様子をご紹介します。

### 【当日の様子】

#### 〈家庭教育についての講話〉



- ＜講 師＞ 岐阜県 環境エネルギー生活部 県民生活課  
課長補佐 塚本 陽治 氏
- ＜講演名＞ 「子どもの居場所をつくる家庭教育」  
～「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の取組～
- ＜内容＞ 健全育成をめざした学校・家庭・地域社会の連携の在り方

#### 〈八幡中学校の実践発表〉



八幡中学校の日置保次校長が、「子どもが活躍する地域づくり～郡上おどりに関わる取組を通して～」をテーマに発表されました。

生徒の願いや発想を大切にしながら、地域の方々から学ぶ場を多く設け、生徒たちの取組を広くPR・発信していることなどを説明されました。

#### 〈3年生生徒と地域講師によるグループ別意見交流会〉



生徒たちは「Good郡上プロジェクト」の取組で、郡上の未来を作るアイデアを地域講師の方々と課題を共有しました。

ひとりひとりが笑顔あふれる郡上八幡にするために真剣に考え、堂々と提案することができました。

### 【取材を終えて】

八幡中学校は、ユネスコの無形文化遺産に登録された伝統の「郡上おどり」を通して地域を盛り上げようと、様々な取組を地域ぐるみで進めています。地元を愛し、郡上おどりを通して他の文化も大切にして行く心が育っていることを感じました。

「世界に郡上おどりの魅力を発信することは、郡上の文化を未来につなぐことです」

大阪・関西万博「岐阜県の日」の大舞台で郡上おどりを披露してきた八幡中学校生徒の言葉が、力強く感じられました。

# 郡上市子育ての日

## ～豊かで朗らかな子育てができるることを願って～

郡上市では、子育てについて楽しく学んでもらおうと、教育分野や福祉分野など6つの課が連携して、昨年度より「子育ての日」を設定して学びの場を提供しています。

今回は、来年度お子さんが小学校に入学予定の保護者を対象に6月5日（木）に開催された、子育て講演会やICT学習会・交流会の様子をご紹介します。

### 【当日の様子】

#### 〈子育て講演会〉



##### ＜講 師＞

親野 智可等（おやの ちから）氏 （教育評論家）

＜講演名＞ 「入学まであと1年！ できること・すべきこと」

＜内容＞子どもと良好な関係を築くことが、子どもの「自己肯定感」や「他者信頼感」を高める。

#### 〈ICT 学習会〉



市教育委員会の職員が講師となり、自身の子育て経験をもとにICTとの向き合い方について講話されました。

ゲームやタブレット端末の利用ルールを親子で決めて、ICT機器と上手に付き合っていくことが大切であることを説明されました。

#### 〈グループ交流会〉



交流会では保護者がグループに分かれて、日頃の子育ての悩みなどを話し合いました。

どのグループも、初めて会ったとは思えないほど、始終和やかな雰囲気で行われていました。参加者から「私はグループ交流が苦手なのですが、話しやすい雰囲気の中、お母さんたちと楽しく交流できて、またがんばろう！と思うことができました」という感想が寄せられました。

### 【主催者の感想】

参加者のアンケート結果から、「学ぶことが多くあった」と回答された保護者がほぼ100%となり、満足度の高い「子育ての日」になったことが嬉しく、また次回への励みとなりました。今後も、継続を基本としながら、ねらいを見失うことなく息の長い取組にしていきたいと思っています。

### 【取材を終えて】

当日は、約50名が参加され、保護者の皆さんにとって有意義な1日になりました。保護者に寄り添った講演内容、気軽におしゃべりできた交流会で、終了後は多くの皆さん笑顔で帰つていかれるのが印象的でした。

# 関市生涯学習課主催 小中学校家庭教育学級 情報モラル講演会

## ～あなたの子どもを守るのは、あなたしかいない！～

関市生涯学習課では、今年度年間2回の家庭教育学級講演会を計画して、希望した学校が会場やオンラインで聴講できるように、学びの機会を広げられました。

今回は、6月12日(木)に旭ヶ丘小学校で開催された情報モラル講演会の様子をご紹介します。

### 【当日の様子】



＜講 師＞ 情報モラル教育研究所 代表 上水流 信秀 氏

＜講演名＞「あなたの子どもを守るのは、あなたしかいない！」  
～子どもたちの実態をとらえ、家庭での取組を！～

### ＜参加校＞

【会場参加】 旭ヶ丘小学校\*

【オンライン参加】 富岡小学校\*、旭ヶ丘中学校\*

桜ヶ丘小学校、上之保小学校

※関市人権学習講座として、児童生徒も参加

(当日参加できなかった保護者が、家庭で視聴できるよう工夫されています)

### ＜内 容＞

ネット被害の現実から、自分を守るためにできることや、家庭でできることなどについて考えた。



### 【参加者の感想】

- ・スマートフォンを楽しいおもちゃとして使っている子どもたちに、広い社会につながる危険性を具体的に教えていただきました。今回、自分の子どもは講演を聴けなかったので、今後も定期的に講演していただきたいと思いました。
- ・帰宅後に「今日こんな話があったんだよ！」と興奮気味に話してくれ、心に残る時間だったことがよくわかりました。保護者も一方的に禁止するのではなく、子どもたちが納得し理解できるように伝える力が求められていると感じました。そのためには、大人も学び続ける姿勢が大切だと思いました。
- ・とても具体的で身近に感じができる事例を紹介していただき、すぐに家庭で活かすことができる内容でした。お話を子どもにもわかりやすく、もっとたくさんお聞きしたいと思いました。

### 【取材を終えて】

関市では、保護者や学校の負担を軽減し、持続可能な家庭教育学級になるように様々な工夫をされています。今回、オンライン開催したことや、講演会の企画調整を生涯学習課が担ったこともそのひとつです。

第2回講演会は、11月27日(木)に「今どきの子育て～よりよいコミュニケーションを～」を開催されます。多くの保護者の学びにつながることを期待しています。